



Deputy Executive Director
Sheila Sisulu

World Food Programme



略歴

シーラ・シスル氏は2008年1月、WFP 国連世界食糧計画の事務局次長（飢餓問題解決担当）に任命されました。

飢餓問題解決担当に就任する以前は、2003年より政策・渉外担当のWFP 事務局次長を務めていました。

シスル氏の前職は、南アフリカの駐米大使。1997年にニューヨーク総領事となり、その二年後に駐米大使に任命されたのが、シスル氏の外交キャリアの始まりです。

外交官としての経験に加え、25年間にわたり南アフリカの政府・政治分野に携わっていました。1974年に学校教育修了後、ソウエトで高校教師として働き始めると同時に、アパルトヘイトに対する強い反対運動に深く関わるようになりました。アパルトヘイトの終焉及び黒人多数政権の樹立に伴い、シスル氏は外部から変革を促す立場から、教育大臣付特別補佐官及び新法案作成チームのメンバーとして、内部から変革を推進する立場に転じました。特に、男女間の平等、青年育成、児童の保育及び教育に関する政策を担当しました。

ボツワナ・レソト・スワジランド大学（UBLS）で学士号、ウィトウォーターズランド大学で1990年に教育学学士号をそれぞれ取得したほか、米国メリーランド大学及びニューヨーク市立大学から名誉博士号を受けています。

家族は夫、息子と二人の娘がいます。

Updated: May 2009